

緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドライン
修正箇所一覧 (1/2)

場所	修正後	修正前
34 ページ	<p>サーバーから緊急地震速報(予報/業)等を受信してから最初の報知または制御を開始するのに要する時間 (略)</p> <p>緊急地震速報(業)の提供から強い揺れが来るまでの猶予時間は短いので、気象庁が緊急地震速報(予報)・<u>リアルタイム震度電文</u>を発表してから端末が報知または制御を開始するまでに要する時間は、トータルで1秒以内に行われることが目安となる。</p>	<p>サーバーから緊急地震速報(予報/業)等を受信してから最初の報知または制御を開始するのに要する時間 (略)</p> <p>緊急地震速報(業)・<u>リアルタイム震度電文</u>の提供から強い揺れが来るまでの猶予時間は短いので、気象庁が緊急地震速報(予報)を発表してから端末が報知または制御を開始するまでに要する時間は、トータルで1秒以内に行われることが目安となる。</p>
38 ページ	<p>予報履歴の保存・管理 (略)</p> <p>観測された震度と比較して予想の精度を確認するために、過去に行った緊急地震速報(業)が閲覧できるとよい。</p>	<p>予報履歴を保存・管理 (略)</p> <p>観測された震度と比較して予想の精度の確認するために、過去に行った緊急地震速報(業)が閲覧できるとよい。</p>
39 ページ	<p>緊急地震速報(予報/業)等の精度情報による動作 緊急地震速報(予報/業)等の精度情報を用いての端末の動作を、どのように設定できるのかについての公開・説明である。</p>	<p>緊急地震速報(予報/業)等の精度情報による動作 緊急地震速報(予報/業)の精度情報を用いての端末の動作を、どのように設定できるのかについての公開・説明である。</p>

緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドライン
修正箇所一覧 (2/2)

39 ページ	<p>ある地震の緊急地震速報(予報 / 業)等を受信した後、続けて別の地震の緊急地震速報(予報 / 業)等を受信した場合の動作 (略)</p> <p>例えば、初めに受信した地震の緊急地震速報(予報 / 業)等では予想した震度が設定震度を超え、動作を開始したが、後から受信した別の地震の緊急地震速報(予報 / 業)等では設定震度を超えなかったため、前の動作を解除するような設定は明らかに不適切といえる。</p>	<p>ある地震の緊急地震速報(予報 / 業)等を受信した後、続けて別の地震の緊急地震速報(予報 / 業)等を受信した場合の動作 (略)</p> <p>例えば、初めに受信した地震の緊急地震速報(予報 / 業)等では予想した震度が設定震度を超え、動作を開始したが、後から受信した別の地震の緊急地震速報(予報 / 業)では設定震度を超えなかったため、前の動作を解除するような設定は明らかに不適切といえる。</p>
41 ページ	<p>気象庁が緊急地震速報(予報)・リアルタイム震度電文を発表してから緊急地震速報(予報 / 業)等を端末に届けるのに要する時間</p> <p>気象庁が緊急地震速報(予報)・リアルタイム震度電文を発表してから緊急地震速報(予報 / 業)等を端末に届けるのに平均的に要する時間の公開・説明である。</p>	<p>気象庁が緊急地震速報(予報)・リアルタイム震度電文を発表してから緊急地震速報(予報 / 業)等を端末に届けるのに要する時間</p> <p>気象庁が緊急地震速報(予報)・リアルタイム震度電文を発表してから緊急地震速報(予報 / 業)を端末に届けるのに平均的に要する時間の公開・説明である。</p>
42 ページ	<p>サーバーや端末の故障時等保守対応 (略)</p> <p>対応には、日頃からの定期点検や端末が故障したときにどの程度で修理が行えるかということ、サーバーが故障した際にどの程度で復旧できる体制が整備されているか等がある。</p>	<p>サーバーや端末の故障時等保守対応 (略)</p> <p>対応には、日頃からの定期点検や端末が故障したときにどの程度で修理が行えるということ、サーバーが故障した際にどの程度で復旧できる体制が整備されていること等がある。</p>
46 ページ	<p>深発地震についての緊急地震速報(業)</p> <p><u>震度の予想の方法が PLUM 法に基づく場合は利用。従来法に基づく場合は利用しない。</u></p> <p>(op)従来法に基づく場合は東日本太平洋側では利用</p>	<p>深発地震についての緊急地震速報(業)</p> <p><u>利用しない</u></p> <p>(op)東日本太平洋側では利用</p>